

協働 拓本展 出展リスト

足立区立郷土博物館 令和4年3月23日

会期：令和4年3月23日～6月5日

協働グループ あだち拓本研究会

No.	石碑名ほか	年代	所在	
由緒を語るいしぶみ				
1	高正天満宮縁起碑 (こうしょうてんまんぐうえんぎひ)	元治元年(1864)	千住四丁目 氷川神社	千住4丁目31-3
2	鐘楼建築記念碑 (しょうろうけんちくきねんひ)	明治24(1891)年	勝専寺	千住2丁目11
3	感旧碑 (かんきゅうひ)	大正5(1916)年	元宿神社	千住元町33-4
4	石出家累世之墓 (いしでけるいせいのほか)	江戸時代後期	源長寺	千住仲町4-1
5	石出掃部亮吉胤の墓 (いしでかものすけよしたねのほか)	江戸時代後期	源長寺	千住仲町4-1
6	正木礫陰事績碑 (まささきれきいんじせきひ)	嘉永5(1852)年	千住四丁目 氷川神社	千住4丁目31-3
7	東都嘉慶樹碑 (とうとかげいじゅひ)	宝暦2(1752)年	千寿常東小学校	千住旭町10-31
8	解剖人墓 (かいぼうじんのほか)	明治5(1930)年	清亮寺	日ノ出町42-1
9	子育地藏大菩薩道標 (こそだてじぞうだいぼさつどうひょう)	天保11(1840)年	元宿堰稻荷神社	千住桜木1丁目15-5
10	矢野和泉守正倫墓 (やのいずみのかみまさものはか)	昭和38(1963)年	源長寺	千住仲町4-1
11	矢野和泉守追悼句碑 (やのいずみのかみつういとうくひ)			
※No.10、No.11は5月10日に応神祠之碑(おうじんしのひ)拓本と入れ替えます。				
12	立花鑑良公の石碑 (たちばなかんりょうこうのせきひ)	明治6(1873)年	宋雲院	台東区東上野4丁目1-12
文芸と人々の足跡				
1	芭蕉句碑「稲つまや闇のかた行鳩鶺の声」 (ばしょうくひ) (いなつまや やみのかたいく ごいのこえ)	文化9(1812)年	聖天山歎喜院 (妻沼の聖天さま)	熊谷市妻沼1511
2	芭蕉句碑「ゆく春や鳥なき魚の目ハ泪」 (ばしょうくひ) (ゆくはるや とりなきうおの めはなみだ)	昭和29(1954)年	安養院	千住五丁目17-9

東都嘉慶樹
とうとかげいじゅ
中国の明から運ばれた
種から生えたというスモ
モの木のことです。



ゴイサギ
鳩鶺・五位鶺
夜行性でクワツ、クワツと
一声ずつカラスのように
鳴く。
夜鳥(よがらす)の別名
がある。



No.	石碑名ほか	年代	所在	
文芸と人々の足跡				
3	睦廼松 (むつみのまつ)	明治17(1884)年	千住橋戸町 稲荷神社	千住橋戸町25
4	竹塚東子墓 (たけのつかとうしのはか)	文化12(1815)年	常楽寺	竹の塚1丁目10-16
5	坂川屋鯉隠の墓 (さかがわやいんのはか)	江戸時代後期	源長寺	千住仲町4-1
6	初代安藤広重墓	大正13(1924)年	東岳寺	伊興本町1丁目5-16
7	ジョン・スチュアート・ハッパーの墓	昭和12(1937)年	東岳寺	伊興本町1丁目5-16

仏足石
仏が持つ11の徳を表す
模様があり、それぞれに
意味があります。

旧拓の魅力ー勝村秀堂コレクションー

1	多賀城碑	天平宝字6(762)年	多賀城跡	多賀城市
2	廬舎那仏 (るしゃなぶつ)	奈良時代(710-794)後期	奈良地獄谷石窟 (ならじごくだにせつくつ)	奈良市
3	仏足石(ぶつそくせき)	明治14(1881)年	増上寺	港区芝公園4丁目
4	葛飾北斎の墓(「画狂老人卍墓」) (かつしかほくさいのはか) (がきょうろうじんまんじのはか)	江戸時代後期	誓教寺	台東区元浅草4丁目6-9
5	大窪詩仏画竹碑 (おおくぼしぶつがちくひ)	文政5(1822)年	向島百花園	墨田区向島3丁目18-3
6	瘞筆冢銘 (えいひつのつかのめい)	建立は文化7(1910)年	青雲寺	荒川区西日暮里3丁目6-4
7	祭毛穎文碑 (さいもんえいぶんひ)	文化12(1815)年	亀戸天神社	江東区亀戸3丁目6-1
8	鳳凰図 (ほうおうず)	中国北魏 5世紀	雲崗石窟	山西省大同市
9	画像磚 (がぞうせん)	漢時代 紀元前3世紀～5世紀		
10	邕子象張道興造像 (ゆうししょうちょうどうこうぞうぞう)	中国漢時代(5世紀末)		陝西省西安市臨潼
11	邕子魏道歡造像 (ゆうしぎどうかんぞうぞう)	中国北魏時代 神龜2(376)年		陝西省西安市臨潼



鳳凰
ほうおう
中国神話の伝説の鳥。
霊鳥。



※ 表記のほか展示資料の入れ替わりがあります。